

ふくしまプライド農林水産物販売力強化事業（一部新規）

1 趣 旨

「ふくしま」ならではの強みを活かしたブランド化の推進や常に消費者の手が届く環境を拡大するためのさらなる販売網の確保、情報発信によるイメージ向上の取組等により、県産農林水産物の価格ポジションを震災前の姿に取り戻すとともに、海外への戦略的な情報発信を通じて輸入規制の撤廃を働きかけることで、本県の基幹産業である農林水産業の復興を目指す。

2 事業内容

(1) 「ふくしま」ブランド拡大推進対策

「ふくしま」ならではの強みを活かしたブランド力の向上を図るとともに、「オールふくしま」で販路拡大に取り組むことで、全国の消費者に本県への親近感を浸透させ、風評の払拭を目指す。

ア ふくしま農林水産物ブランディング事業

県産農林水産物のさらなるブランド力向上のため、県外量販店等において販売フェアを開催するとともに、店内に販売コーナーをモデルケースとして設置することで消費者やバイヤーへ積極的なマーケティングを行う。

イ オリパラを契機とした販路の拡大

東京2020オリンピック・パラリンピック大会を商機と捉え、県産農林水産物の魅力、安全に対する取組への理解促進や販路拡大につなげる。

(ア) オリパラを契機とした販路の拡大（商談会等）

食品流通・小売事業者を対象とした商談会等を実施

(イ) オリパラを契機とした販路の拡大（産地視察）

生産者と交流等を行うバイヤー向け産地視察を開催

ウ 「がんばろう ふくしま！」応援店等拡大事業

県産農林水産物の販売等により、その魅力や安全性などを積極的にPRする店舗を「がんばろう ふくしま！」応援店として登録し、消費拡大を図る。

119

エ おいしい ふくしま いただきます！キャンペーン事業

県内量販店等において消費拡大キャンペーンを実施し消費者にPRすることで、県産農林水産物の美味しさの再認識、安全性への理解につなげる。

オ 全国での販売促進PR

県産農林水産物等の一層の販路回復・拡大を図り風評を払拭するため、関係団体等と連携したトップセールス等により、流通・販売事業者の経営者層や消費者への働きかけを行う。

カ ふくしま米ブランド化推進事業

(ア) 「福、笑い」ブランド化推進事業

令和3年度本格デビューの県オリジナル米新品種「福、笑い」のブランディングを実施する。

(イ) ふくしま米ブランド販路拡大推進事業

県産米の販売促進キャンペーン、飲食店等とのタイアップ等、セールス・プロモーションを実施する。

(ウ) ふくしま米消費拡大推進事業

県産米の消費拡大及び需要拡大を図るためPR活動等の取組を支援する。

キ ふくしまの畜産ブランド再生事業

(ア) おいしい「ふくしまの畜産」消費拡大事業

畜産物の消費拡大イベントを実施するとともに畜産団体の取組を支援する。

(イ) 「福島牛」ブランド再生事業

「福島牛」ブランドの復興に向けた安全性・おいしさのPRや販路拡大等を支援する。

ク 使ってふくしま！契約野菜産地育成事業

加工・業務用野菜の取引拡大を目的に、マッチング商談会及びセミナー等各種イベントを開催し、契約野菜の新たな販路確保と産地育成を図る。

ケ 6次化商品販路拡大事業

商品それぞれの強みを活かしたプロ目線による商品改良や販路拡大など、6次化商品のブランド化を支援する。

併せて、各地方の特色を活かした商品開発やマッチングにより販路拡大を支援する。

(ア) ふくしま満天堂ブランド確立推進事業

120

「ふくしま満天堂」の取組により、県内6次化商品の磨き上げと販路拡大を支援するとともに、商売ベースでの継続的なブランドの運営を推進する。

(イ) 6次化地方ネットワーク活動推進事業

県内各地方における6次化ネットワークの活動を支援する。

コ 「ふくしまプライド。」県産農林水産物販売拡大支援事業

県内の市町村、農業者団体等が、風評の払拭に向けて国内で実施する、県産農林水産物等の販路拡大や、消費拡大のためのPR等活動を支援する。

サ 「チームふくしまプライド。」活動支援事業

県産品を応援する人の組織化を目指す福島フードファンクラブ「チームふくしまプライド。」の活動を支援する。

シ ふくしま旬の食材等活用推進事業

県産農林水産物の活用を通じた食育活動を推進するため、県内の保育園や幼稚園、小中学校等における県産食材の購入や食に関する体験活動等を支援する。

(2) オンラインストアによる販売促進

ウィズコロナの状況下においてもオンラインストアを活用することで積極的に販売棚を確保し、県産農林水産物が常に消費者の手が届く環境を拡大することで、国内マーケットにおける本県産品の地位の確立を図る。

(3) 農林水産物戦略的情報発信

科学的根拠に基づく県産農林水産物の安全性を多言語で分かりやすく発信することで安心につなげるとともに、テレビCM等の活用により魅力を全国に向けて発信することでイメージ向上を図り、風評の払拭を目指す。

ア 「ふくしまプライド。」情報発信事業

県産農林水産物に対するイメージ向上を図るため、消費者への影響力の大きいマスメディアを活用した対策を実施するとともに、風評に関連する調査を行い、効果的な情報発信対策や販路拡大対策を検討する。

イ 食品モニタリング検査情報発信事業

放射性物質モニタリング検査結果を公表するWEBサイトを運用することで、科学的根拠に基づく情報を発信し、県産食品の安

全に関する理解を深める。

ウ オリパラを契機とした販路の拡大（大会会場）

選手村や競技会場等の大会関連施設に食材を供給し、県産農林水産物の品質の高さ、GAP認証を含む安心・安全確保の取組を国内外に発信するとともに、競技会場周辺やホストタウン関連施設を活用したPRを行う。

(4) 攻めの海外販路回復・拡大事業

原子力発電所事故による輸入規制の撤廃に向けて戦略的な情報発信を展開するとともに、日本産品の輸出が発展途上にある海外マーケットへ販路拡大を図る。

ア 動画等による海外への情報発信

県産農林水産物等の魅力を海外に発信する情報コンテンツを作成・配信する。

イ 有望国・地域の「食」「農」関係者招へい

輸入規制を講じている国・地域等の食・農に関係する政府関係者やメディア等を本県へ招へいし、県産食品の安全性確保の取組状況など、正確な情報発信を行う。

ウ 有望輸出国での試食会・商談会等の実施

輸出有望国において、輸出に意欲的な県内生産者団体等とともに、試食会・相談会等を開催し、県産農林水産物の魅力を積極的に発信することで、輸入規制の緩和とさらなる県産品の輸出促進につなげる。

エ 中東地域における情報発信・販路拡大

中東地域の現地飲食店等において、県産農産物を継続的にPRすることで、販路拡大や風評払拭に繋げる。

オ 農産物等海外販路開拓支援

輸出に意欲的な県内農業者団体等が海外販路開拓のために実施する商談会や展示会出展等の活動を支援する。

3 事業実施主体

2 (1) ア、イ、ウ、エ、オ、カ (ア)、カ (イ)、キ (ア)、ク、ケ 県

2 (1) カ (ウ) ふくしま米消費拡大推進協議会

2 (1) キ (ア) 畜産団体

- 2 (1) キ (イ) 全国農業協同組合連合会福島県本部、福島牛販売促進協議会
- 2 (1) コ 市町村、民間団体、県域農業団体
- 2 (1) サ 民間団体等
- 2 (1) シ 市町村、市町村教育委員会、小中学校、特別支援学校 (小学部・中学部)、共同調理場、保育所、幼稚園、認定こども園、民間事業者
- 2 (2) 県
- 2 (3) ア、イ、ウ 県
- 2 (4) ア、イ、ウ、エ 県
- 2 (4) オ 農業団体等

4 予 算 額 1, 939, 982千円

- 5 補 助 率
- 2 (1) カ (ウ)、キ (ア)、キ (イ)、コ、サ、シ 定額
 - 2 (4) オ 3/4以内、定額

6 事業実施期間 平成30年度～令和7年度

【担当課：生産流通総室農産物流通課 024-521-7354】

令和3年度ふくしまプライド農林水産物販売力強化事業

